



Press Release

北海道標津町

令和7年10月3日

「標津町地域循環型防災教育」を推進するためにクラウドファンディング型ふるさと納税で寄附の募集を開始します

～高校生から未来の高校生へ！「地域循環型防災教育」で防災意識を繋いでいく～

北海道標津町（町長：山口 将悟、以下「標津町」）は令和2年度より実施している「標津町地域循環型防災教育」の更なる推進を目指し、本日令和7年10月3日よりクラウドファンディング型ふるさと納税で寄附の募集を開始します。

このプロジェクトはふるさとチョイス (<https://www.furusato-tax.jp/gcf/4197>) にて寄附を募集し、1,000,000円を目標として令和7年12月31日までの期間限定で実施します。



地域循環型防災教育とは？

町民全体に満遍なく防災意識を広げるため、総合学習等の時間を活用して町内の中学生以下の子ども達に防災教育を実施し、若年層から防災意識の底上げを図る目的で実施している取組です。

講師は地元の北海道標津高等学校（以下「標津高校」）の生徒たちが担うため、高校生を日本の被災地研修に派遣し、研修により学んだことを自らの言葉で語りかけることで子ども達への防災意識の浸透を促します。

この取組を通じて高校生の成長を促すとともに、子ども達にとっての標津高校の魅力アップに繋げ、かつて高校生の講話を聴いた子どもが標津高校へ進学し、今度は講師として子ども達に防災教育を行うといった“循環”を生み出します。

今後の展開

このプロジェクトにより作製予定の「標津高校オリジナル HUG」を活用しながら、地域循環型防災教育を継続することで子ども達を中心に防災意識の浸透を図っていきます。また、この取組により標津高校の魅力アップに繋げ、進学希望者を確保しながら標津高校と連携しながら地域を守っていく取組を続けていきます。

クラウドファンディングの返礼品



ご寄附いただいた方へは心ばかりですがお礼の品を送らせていただきます。「鮭のまち」標津町が自信をもってお送りする鮭やいくらをはじめ、魅力的な「食」を中心に標津町自慢の品をご用意しております。

標津町長 山口 将悟のコメント

海に面した当町は天災が発生した際には災害リスクの高い地域です。これからの将来を担っていく地域の高校生が防災リーダーとなり地域を守るとともに、その姿を見た年下の子どもたちが先輩たちに憧れ、地元の標津高校へと入学し、次は伝える側として地域を支える。このサイクルを繰り返すことで町内唯一の高校である標津高校を存続させることができる。そんな地域循環型防災教育の実現を目指し取り組んでいます。ぜひこの取組を継続できるよう応援よろしくお願いいたします。

本件に関するお問い合わせ先

標津町企画政策課ふるさと納税担当

TEL：0153-85-7240

Mail: furusato-ouen@town.shibetsu.lg.jp